

日本国際理解教育学会特定課題研究  
「SDGs時代における水・気候変動教育を問う」  
公開研究会

日本国際理解教育学会研究・実践委員会では2016年9月から3年間のプロジェクト「国際理解教育における理念と方法を問い直す」を3チームが取り組んでいます。その一つである「SDGs時代における水・気候変動教育を問う」チームがこれまでの研究報告を行います。

ふるってご参加ください。

～報告内容～

司会：曾我 幸代（名古屋市立大学）  
趣旨説明：宇土 泰寛（椋山女学園大学）

森田 育志（神戸大学附属中等教育学校）

「水・気候変動をテーマとした授業づくり-学校設定科目ESDの授業実践を通して-」

星野 百合子（愛知県立みあい特別支援学校）

「海外ボランティア経験者が伝えるESDの視点を取り入れた授業展開について」

佐久間 理子（調布市立第四中学校）

「国際理解教育～日豪での授業実践～」(仮)

山田 修（名古屋市立橘小学校）

「身近な素材からつくる水・気候変動教育～過去・現在の新堀川を調べ、未来を考える活動を通して」

～ワークショップ～

進行：林 敏博（椋山女学園大学）

「新堀川の未来と子どもたちの市民参画」

**気候変動教育とは～「水・気候  
変動」を考える授業をもとに～**

2017年8月24日 木曜日 13:00～16:00

- ・場所：椋山女学園大学 教育学部棟
- ・参加費：無料（事前申し込み不要）
- ・問い合わせ先：[研究会前日まで]soga@hum.nagoya-cu.ac.jp  
[当日連絡先]宇土研究室直通 052-781-4495